



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社fantasista 上場取引所 東
コード番号 1783 URL <https://fantasista-tokyo.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田野 大地
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 保住 光良 (TEL) 03-5572-7848
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	2,681	△65.7	214	830.7	150	—	△17	—
2025年9月期第3四半期	7,813	37.1	23	△36.2	△188	—	△223	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 △5百万円(—%) 2025年9月期第3四半期 △223百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	△0.10	—
2025年9月期第3四半期	△1.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	11,080	7,847	69.0
2025年9月期	9,237	6,376	69.0

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 7,649百万円 2025年9月期 6,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	—	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,300	9.3	500	136.2	400	—	280	1.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社アモティ 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	193,308,851株	2025年9月期	170,042,851株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	333株	2025年9月期	283株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	177,042,383株	2025年9月期3Q	170,042,569株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として緩やかな回復基調が続いた一方で、物価上昇の継続や為替変動、国際情勢の不安定化などにより、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループはリアルエステート事業における大型案件の販売準備、中小型物件の売却及び仲介業務の推進、クリーンエネルギー事業における系統用蓄電池事業及び電力需給調整市場での収益拡大に取り組みました。

また、2026年4月30日をみなし取得日として株式会社アモティ（東京都内を中心に貴金属等の買取店舗を展開）を連結子会社化し、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。（詳細はP11「（企業結合等関係）」をご参照ください。）

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26億81百万円（前年同期比65.7%減少）、営業利益2億14百万円（前年同期は営業利益23百万円）、経常利益1億50百万円（前年同期は経常損失1億88百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失17百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億23百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

1) リアルエステート事業

当事業におきましては、都内大型案件の販売に向けた準備を進めるとともに、中小型物件の売却及び仲介業務を推進いたしました。また、インバウンド需要を背景としたホテル事業も堅調に推移いたしました。この結果、売上高19億84百万円（前年同期比73.7%減少）、営業利益4億86百万円（前年同期比22.2%増加）となりました。

2) ヘルスケア事業

当事業におきましては、既存のサプリメント商品である5-ALA（ファイブアラ）の販売に加え、新商品として、男性向けサプリメント「ZINC×5-ALA」（昨年12月）、ペット向けサプリメント「ファイブアラ犬猫用」（3月）、こども向けサプリメント「ぞうさんのすまいるルテイン」（7月）を投入し、ブランド&商品の認知向上のための先行投資を継続いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高94百万円（前年同期売上高1億5百万円）、営業損失13百万円（前年同期営業利益4百万円）となりました。

3) クリーンエネルギー事業

当事業におきましては、系統用蓄電池関連事業の推進に加え、「群馬太田蓄電所（fantasista gunma PSS）」の運営を通じて電力需給調整市場での収益を計上いたしました。この結果、売上高2億61百万円（前年同期売上高1億49百万円）、営業利益1億76百万円（前年同期営業利益51百万円）となりました。

4) その他

当事業におきましては、第3四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社アモティのリユース事業の業績が寄与いたしました。この結果、売上高3億40百万円、営業利益43百万円を計上いたしました。当期末には独立のセグメントとする方針であります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

1) 資産

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて18億42百万円増加し、110億80百万円となりました。

流動資産は17億90百万円増加し93億1百万円、固定資産は52百万円増加し17億78百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、販売用不動産の増加10億62百万円、前渡金の増加2億17百万円、未収入金の増加3億15百万円などです。

固定資産増加の主な要因は、建物及び構築物の増加69百万円、土地の増加72百万円、有形固定資産のその他(建設仮勘定)の増加1億36百万円、のれんの減少2億45百万円などです。

2) 負債

当第3四半期連結累計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億71百万円増加し、32億32百万円となりました。

流動負債は4億31百万円増加し24億96百万円、固定負債は59百万円減少し7億35百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加2億48百万円、流動負債その他の増加2億31百万円(主に未払金・未払費用の増加)などです。

固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少64百万円などです。

3) 純資産

当第3四半期連結累計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14億70百万円増加し、78億47百万円となりました。純資産増加の主な要因は、新株予約権の行使による資本金6億46百万円および資本剰余金6億46百万円の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月14日付の2025年9月期決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,784,495	1,620,988
売掛金	25,096	112,110
商品	623,563	633,694
原材料及び貯蔵品	1,190	59,041
販売用不動産	4,411,836	5,474,552
前渡金	18,458	235,599
未収入金	4,563	320,378
その他	644,332	850,283
貸倒引当金	△2,011	△4,859
流動資産合計	7,511,524	9,301,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	163,213	232,813
機械装置及び運搬具（純額）	593,279	542,052
工具、器具及び備品（純額）	7,694	13,039
土地	244,653	317,153
リース資産（純額）	1,495	3,688
その他（純額）	57,758	194,583
有形固定資産合計	1,068,095	1,303,330
無形固定資産		
のれん	327,851	81,962
その他	4,978	7,380
無形固定資産合計	332,829	89,343
投資その他の資産		
投資有価証券	—	57,186
繰延税金資産	152,043	158,013
その他	172,844	170,491
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	324,788	385,591
固定資産合計	1,725,713	1,778,265
資産合計	9,237,238	11,080,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	569	—
短期借入金	51,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,718,445	1,966,447
未払法人税等	89,465	99,423
リース債務	—	513
賞与引当金	9,007	2,038
株主優待引当金	16,229	16,229
その他	180,202	411,992
流動負債合計	2,064,918	2,496,644
固定負債		
長期借入金	728,895	664,050
役員退職慰労引当金	29,625	35,550
退職給付に係る負債	830	1,425
リース債務	5,819	7,660
資産除去債務	30,183	26,917
その他	45	45
固定負債合計	795,397	735,647
負債合計	2,860,316	3,232,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,633,604	7,279,700
資本剰余金	4,652,655	5,298,752
利益剰余金	△4,911,951	△4,929,108
自己株式	△43	△46
株主資本合計	6,374,264	7,649,298
新株予約権	2,656	84,722
非支配株主持分	—	113,742
純資産合計	6,376,921	7,847,763
負債純資産合計	9,237,238	11,080,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,813,324	2,681,623
売上原価	6,778,222	1,237,727
売上総利益	1,035,101	1,443,895
販売費及び一般管理費	1,012,047	1,229,344
営業利益	23,053	214,551
営業外収益		
受取利息	4,265	4,034
受取配当金	99	170
賃料収入	4,410	4,410
その他	575	2,101
営業外収益合計	9,349	10,716
営業外費用		
支払利息	221,333	65,112
その他	3	9,243
営業外費用合計	221,336	74,356
経常利益又は経常損失 (△)	△188,933	150,912
特別利益		
固定資産売却益	1,025	—
負ののれん発生益	—	4,834
新株予約権戻入益	2,318	2,656
特別利益合計	3,343	7,491
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△185,589	158,403
法人税等	37,631	164,027
四半期純損失 (△)	△223,221	△5,623
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	11,533
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△223,221	△17,157

四半期連結包括利益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年10月 1 日 至 2025年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年10月 1 日 至 2026年 6 月30日)
四半期純損失 (△)	△223, 221	△5, 623
四半期包括利益	△223, 221	△5, 623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△223, 221	△17, 157
非支配株主に係る四半期包括利益	—	11, 533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間において、第9回新株予約権の行使に伴う新株の発行等により、資本金が646,096千円、資本剰余金が646,096千円、それぞれ増加しております。

(連結の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社アモティの株式を54.98%取得し、同社議決権の過半数を取得したため、重要な子会社として連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1) 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額・ その他 (注) 2	四半期連結 財務 諸表計上額 (注) 3
	リアルエステート	ヘルスケア	クリーンエネルギー	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,557,224	105,955	149,830	7,813,009	—	7,813,009	314	7,813,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	46,689	—	46,689	—	46,689	△46,689	—
計	7,557,224	152,645	149,830	7,859,699	—	7,859,699	△46,375	7,813,324
セグメント利益	398,231	4,648	51,095	453,976	—	453,976	△430,922	23,053

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、該当事項はありません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用429,697千円およびセグメント間取引消去であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2) 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務 諸表計上額 (注) 3
	リアルエステート	ヘルスケア	クリーンエネルギー	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,984,928	94,186	261,702	2,340,817	340,806	2,681,623	—	2,681,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,109	988	—	3,097	—	3,097	△3,097	—
計	1,987,038	95,174	261,702	2,343,914	340,806	2,684,721	△3,097	2,681,623
セグメント利益	486,655	△13,315	176,233	649,573	43,249	692,822	△478,270	214,551

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リユース事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用478,270千円およびセグメント間取引消去であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「その他」の区分において、株式会社アモティの株式を取得し連結子会社化したことにより、当第3四半期連結累計期間において4,834千円の負ののれん発生益を計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	16,940千円	62,210千円
のれんの償却額	245,388千円	245,888千円

(企業結合等関係)

株式の取得による企業結合

当社は、2026年4月22日開催の取締役会において、株式会社アモティ（以下「アモティ社」という。）の株式を取得、同社を子会社化することを決議し2026年5月11日に株式を取得しております。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び当該事業の内容

結合当事企業の名称 株式会社アモティ
事業の内容 古物の売買

②企業結合日

2026年4月30日（みなし取得日）

③企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得（株式譲受及び第三者割当増資引受）

④結合後企業の名称

変更はありません。

⑤取得した議決権比率

54.98%

⑥その他の取引の概要に関する事項

子会社化に伴い、当社グループの経営資源（資金調達力の強化、人材の投入等）を活用したアモティ社の事業拡大を進めるとともに、当社グループとしての経営管理体制を明確化し、連結ベースでの業績管理及び内部統制の適正化を行い、中長期的な成長戦略を推進してまいります。

(2) 四半期連結損益計算書に含まれている被取得企業の業績の期間

2026年5月1日から2026年6月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合の対価（現金） 120,000千円
取得原価 120,000千円

(4) 発生した負ののれんの金額及び発生原因

①発生した負ののれんの金額

4,834千円

②発生原因

企業結合時における被取得企業の時価純資産の企業集団の持分が、取得原価を上回ったため、その差額を特別利益に「負ののれん発生益」として認識しております。